

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和7年度分）

団体名： 福知山市

(千円)								
No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり連携推進事業	防災	災害時ケアプラン推進事業	【事業の目的】 令和3年5月に災害対策基本法が改正され、個別避難計画（災害時ケアプラン）の作成が市町村の努力義務化となった。本市においても、過去、大災害に見舞われている中、事前に避難のサポート体制を構築し、要支援者の災害リスク、世帯状況、心身の機能レベル等を考慮した優先度の高い方の計画作成を国が定める「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取り組み指針」に示されている、令和7年度までの完了をめざし、取組みを推進する。 【事業の内容】 ・災害時ケアプラン作成・更新、災害時の運用 ・避難支援者、避難場所、移送手段の確保 ・災害時ケアプラン作成支援システムの運用 ・災害時ケアプランネットワーク会議の開催 ・福祉避難所の環境整備 ・災害時ケアプラン支援者向け研修会の開催	4,944	2,472	・災害時ケアプラン（個別避難計画のうち公助で作成するプラン）作成人数延べ158人	避難行動要支援者のうち、家族の避難支援が得られない人や家族や地域の支援では避難が困難な人に対し、災害リスク、世帯状況、心身の機能レベル等を考慮し、市とケアマネジャー等福祉専門職が主体となり、本人やその家族、地域住民も交えて避難のタイミングや移送手段、避難場所など、一連の活動を想定した具体的な避難計画を作成することができた。また、計画に基づく訓練を実施することによって、計画の実効性を高めることができた。
2	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	アクティブシティ推進事業	【事業の目的】 市民の身体活動（運動やスポーツなど）を盛んにすることで、アクティブ（活動的・能動的）でウェルビーイング（心的・身体的・精神的な充足感が満ちている）な地域を形成し、誰もが心身ともに健やかで豊かな生活を送ることができるまち「アクティブシティ」の実現に向け、市民団体、民間企業等と協働して取り組みます。 また、高血圧制圧のまちプロジェクト事業を本事業に統合し、運動の習慣化や食生活の改善を通した高血圧症等の生活習慣病予防に一体的に取り組みます。 【事業の内容】 ・オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の活用推進 ・アクティブシティ推進アドバイザー企画事業を実施 ・アクティブシティ推進事業補助金の活用推進 ・アクティブライフプラン体験会の実施	6,621	3,310	・福知山KENPOSアプリ登録者数7,467人 ・官民協働によるアクティブシティ推進事業参加者数 1,971人 <内訳> ①ランニング講座2回70+50人 ②アクティブフェスタふくちやま2025（障害者福祉課等との連携）1800人 ③アクティブライフプラン 3回51人	福知山KENPOSの登録者数は7,467人を超え、平均歩数も年々増加傾向にあり、アプリ活用の成果がでている。健康に対する無関心層が健康づくりに取り組めるような働きかけを行うために試行的に実施したアクティブライフ体験会では、楽しさを前面に押し出すことで無関心層の参加につなげることができ、好評な結果となった。
3	地域づくり連携推進事業	子育て支援	新生児聴覚スクリーニング検査費助成事業	【事業の目的】 難聴は、早期に発見し、適切な支援が行われることで、音声言語の発達の促進やその他のコミュニケーション手段等の早期獲得により、日常生活をより豊かにする効果が期待できる。子どもの健やかな成長と、保護者が安心して育児ができるよう、検査費用を公費助成し、先天性疾患の中で最も高頻度な疾患の一つである先天性難聴を出生後早期に発見する。 【事業の内容】 ・母子手帳発行手続き時に、本検査の受診券を交付する。 ・新生児聴覚スクリーニング検査費助成事業のいずれか1回（初回検査）にかかる費用を助成する。	1,828	914	・新生児聴覚検査受検率 98.7% - 対象者数459人 - 実施把握数453人（受検者数449人、4か月児健診での把握4人）	委託医療機関からの請求の際に検査結果を把握することができた。昨年度と比較して2.9%の受検率の上昇を達成することができた。

4	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	福知山鉄道館運営事業	【事業の目的】 「鉄道のまち」福知山の歴史・アイデンティティを体現し、全ての世代が楽しめる施設として令和5年度に開館した福知山鉄道館を運営し、「鉄道のまち」の歴史の継承及び観光促進による地域活性化を図る。 【事業の内容】 ・福知山鉄道館の運営 ・福知山鉄道館PRイベントの企画・実施	16,316	8,158	・福知山鉄道館入館者数 29,021人 ・企画展示回数 6回	開館2年目を迎え、運営基盤の安定を維持しつつ、更なる魅力向上に向けた「挑戦の年」となった。 具体的には、展示内容の拡充や公募型企画展の複数回開催をはじめ、集客を促進するイベントの実施、土産物のラインナップ強化、SNSによる広報活動、そして多様な団体との連携など、多岐にわたる取り組みを実施することができた。
5	地域づくり連携推進事業	子育て支援	響プランFまなびの充実事業	【事業の目的】 『響』プラン・F（福知山市立学校教育内容充実推進プラン）に基づく確かな学力を定着させる取組などにより、ふるさと福知山で育つ子どもたち一人一人が、学力を向上させ、自らの可能性を伸ばし、年々変化、発展するこの時代・社会をたくましく生きていく力を育てる教育を推進する。 【事業の内容】 ・学校における基礎学力定着のための取組 ・課題のある児童生徒に対する校内補充学習や家庭訪問等による子育て相談、家庭学習習慣の定着を図る家庭教育支援 ・小学校補充学習の学習サポーターとして福知山公立大学生を配置し学習支援を行う ・人権学習副読本の改訂	2,644	1,322	・各学校において基礎学力定着のための取組（補充学習等）を実施した。 ・小学校補充学習の学習サポーターとして、福知山公立大学生10名を小学校4校に配置し、学習支援を行った。 ・人権学習副読本を改訂し、各学校で活用した。	『響』プラン・Fに基づく、児童生徒の学力の向上・充実を目指すために計画していた取組については、予定どおり実施し、基礎学力の定着や子どもの可能性を伸ばすための教育機会を提供できた。
6	地域づくり連携推進事業	子育て支援	響プランF心の充実事業	【事業の目的】 『響』プラン・F（福知山市立学校教育内容充実プラン）に基づき、充実した体験活動を支援することにより、子どもたちの豊かな心とあらゆる可能性を伸ばす教育を進める。 【事業の内容】 ・「本物」の芸術・文化体験（中学1年生・小学4年生） ・各校で企画する体験に要するスクールバス運行（施設見学、大学・高校見学等） ・各校における心の充実体験活動（講座等）	15,767	7,883	・心の充実体験活動の実施回数（小学校）22回 ・心の充実体験活動の実施回数（中学校）12回 ・市内小学校4年生を対象に、博物館見学と京の体験活動を実施した。 ・市内中学校1年生を対象に、劇団四季を観劇した。	全事業において学校（児童生徒）からの満足度は高く事業として一定以上の効果があり、豊かな心や感性を育む機会となった。 小学4年生対象（博物館見学・体験活動）満足度99% 中学1年生対象（劇団四季の観劇）満足度96%

7	地域づくり連携推進事業	交流と連携	移住・定住促進事業	【事業の目的】 全国的な少子高齢化や人口減少により地域活力が低下する中で住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくりを行う。 多様化する移住希望者のニーズに合った支援を行い、関係人口や将来的な移住・定住者の増加と担い手の確保により地域振興を図る。 移住者・移住希望者支援及び受入地域側の意識醸成並びに空き家等の利活用による地域の維持・活性化を図る。 【事業の内容】 ・受入地域の意識醸成のための支援（各地域協議会、自治会連合会等との連携、移住促進特別区域指定に関する支援、地域による移住者受入体制構築支援） ・農山村地域の活性化及び集落維持を目的とした空き家の利活用促進支援（空き家情報バンク制度運営、改修費補助金等） ・移住希望者及び移住者に関する支援・情報発信等（移住促進ウェブサイト運営（地域情報・移住者インタビュー記事作成）、福知山暮らし体感ツアー、オンライン相談等）	4,988	1,788	・空き家情報バンク制度を通じての移住者数 40人 ・新規移住希望者名簿登録数 140人	本市の移住促進ウェブサイトやSNSなどによる情報発信、各種支援制度の構築などを行うことができた。移住促進特別区域を中心に、地域づくり組織等において、移住者交流会の開催や空き家物件の登録促進が行われており、移住者の受入れに対する地域の意識は年々上がっている。今後も地域づくり組織や自治会など受入地域と連携し事業を進めていく。
8	地域づくり連携推進事業	京都産業	夜久野支所地域支援事業	【事業の目的】 京都府唯一の火山である宝山によって形成された溶岩台地で、風光明媚で史跡にも恵まれている夜久野高原を、道の駅「農匠の郷やくの」を含めて地域内外へ発信することにより、観光地としての集客を図るとともに住民交流を促進する。 【事業の内容】 地域資源を活用して人・物・経済の流れを地域に作り出す農村都市交流の拠点施設である道の駅「農匠の郷やくの」を舞台に地域振興を進める各イベント等を実施する団体に対して補助金を交付し支援する。 ・やくの高原まつり ・夜久野農林商工祭	648	232	やくの高原まつり来場者数 5,800人 夜久野農林商工祭来場者数 3,000人	それぞれのイベントが従来の規模での開催となり、一定の集客効果を得ることができた。一時的なものであるが、イベント開催を通じて夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもできており一定の成果を上げている。
9	地域づくり連携推進事業	文化の力	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業	【事業の目的】 多くの市民が文化芸術活動・創作活動に自主的・主体的に参画でき、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築することを目的とする。 市民の多様なニーズに対応した文化事業に取組み、文化・芸術活動の発表する機会を提供する。 【事業の内容】 文化協会に事業支援補助を実施し、市民の多様なニーズに対応した文化事業に取組み、文化・芸術活動の発表する機会を提供する。 ・公益社団法人福知山市文化協会への事業支援補助 ・公益社団法人福知山市文化協会との共催事業 ・文化団体への後援等 ・市民参加型演劇の開催	4,453	1,596	文化協会との共催事業数 ・市民文化教室 12教室 ・文協フェスティバル参加 36団体2個人 ・福知山市合唱祭出演 32団体延べ580人 ・福知山市展 出品者数 302人 ・福知山市文化祭 29行事	福知山市文化協会の事業支援を行うことにより、市民の多様なニーズに対応した文化事業を、文化協会加盟団体をはじめ市民の自主的・主体的な参画により実施できた。

10	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	避難行動要支援者名簿提供事業	【事業の目的】 地域住民の支え合い・助け合いによる自助・共助を基本とする要配慮者の災害時避難支援をはじめ、日ごろからの地域での見守り等を通じて、安心・安全に暮らせる地域づくりを推進する。 【事業の内容】 ・要介護3以上又は身体障害者手帳の第1種、精神障害者保健福祉手帳の1級・2級の交付を受けている人、療育手帳A判定を受けている、若しくは自力避難が困難な難病患者のいずれかの条件を満たす者で、以前に同意・不同意の回答のない者について、制度の説明と同意不同意書を送付する。 ・同意の回答があったものを避難行動要支援者名簿に登録し、該当する自治会長や民生委員、警察消防、避難支援者などと情報を共有する。	445	159	・避難行動要支援者の該当者のうち、名簿掲載の同意確認をとれていない方に対して、同意確認を行った（1回） ・ケアマネージャーの協力により、同意不同意の未回答者及び、要件非該当だが自主避難が困難な方に対して、名簿への掲載について案内を行った	避難行動要支援者のうち、情報提供に同意した人の名簿を自治会長等へ提供することができ、情報を共有することができるようになった。 また、未回答者への案内を強化したことにより、未回答者数の減少につながった。
11	地域づくり連携推進事業	環境先進地	資源ごみ集団回収報償事業	【事業の目的】 各種市民団体の自主的な資源ごみの集団回収により、環境パークへ持ち込まれるごみ量の減少と処理費用の削減を図るとともに、PTA、子ども会、老人会などの団体による回収活動を通じて、子どもから高齢者まで、すべての人がごみの減量・分別・リサイクルの必要性を実感し、環境問題の大切さを認識している循環型社会のまちづくりを実現する。 【事業の内容】 ・営利を目的としない団体（PTA、子ども会、自治会など）による資源ごみ（新聞、雑誌、段ボール、空き缶、廃食用油など）の集団回収に対し、資源ごみ1kgあたり3円（廃食用油の場合は1リットルあたり3円）の報奨金を支給する。	2,683	962	・資源ごみ集団回収量 894t ・資源ごみ集団回収登録団体数 70組織	広報や自治会回覧により、継続した活動や新たな登録を呼びかけ、894tの資源ごみの集団回収を行うことができた。
12-1	地域づくり連携推進事業	環境先進地	環境公害調査事業（環境パーク運転・維持管理事業）	【事業の目的】 市民、事業者の環境意識を高めることで環境公害等を未然に防ぎ、環境保全の進んだまちとする。 環境公害発生時には、その対策を行い、市民の公害に対する不安を解消する。 【事業の内容】 ・環境パーク周辺の地域環境を調査し、環境への影響を把握する。 ・公害苦情発生時に現地調査、発生源への指導等の苦情処理を行う。 ・事業所の公害発生施設設置届出を受理するとともに、必要に応じて法令に基づく指導を行う。 ・市内で大気汚染、水質汚濁、悪臭公害が懸念される地域において環境測定を行い、状況を監視する。 ・騒音規制法第18条に基づき、市内幹線道路の代表的な地点の騒音測定を行い、道路を走行する自動車の運行に伴い発生する騒音に対して、道路に面する市域の騒音暴露状況を把握する。	3,957	1,419	・環境パーク周辺地域との公害防止協定における協定値の遵守 89項目 ・公害苦情対応件数 23件 ・特定施設等の届出書受理件数 94件	環境測定の実施により、法令の基準や公害防止協定の協定値の遵守状況について把握することができた。
12-2	地域づくり連携推進事業	環境先進地	環境公害調査事業（環境保全一般事業）	2,282	818			
13	地域づくり連携推進事業	環境先進地	不法投棄対策事業	【事業の目的】 市街地外周部や山間部での不法投棄が後を絶たず、地域環境への影響が懸念される。 不法投棄の防止には、早期発見・早期対策が必要不可欠であるため、巡回パトロールとごみの回収を行うことにより、不法投棄防止対策の充実と市民生活の安心安全を図る。 【事業の内容】 不法投棄が多い重点監視地点を中心に巡回パトロールを実施し、不法投棄されたごみを処理する。また、回収した不法投棄物の内容を調査し、不法投棄者の特定につながる物を発見した場合は、警察と連携して注意、指導を行う。	4,791	1,717	・不法投棄ごみ回収量 4t ・不法投棄パトロール回数 215回	巡回パトロールを実施し、不法投棄ごみの回収をすることで、地域環境の保持ができた。

14	地域づくり連携推進事業	環境先進地	3R（スリーアール）推進事業	【事業の目的】 家具等の修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアール)のリデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(資源として再生利用する)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現する。 【事業の内容】 体験教室受講者のすそ野を広げるため、展示可能な市の施設（図書館など）で環境啓発展示を実施する。 施設見学、リユース品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、市民のリサイクル意識の向上を図る。 環境パークへ持ち込まれた廃棄物を修理・再生し、リサイクルプラザで展示販売及び実際に布等のリフォームなどの「リサイクル体験教室」を開催することにより技術を学び、活用できる場を提供する。	2,728	978	・環境学習（環境パーク施設見学）参加者 569人 ・リサイクル体験教室参加者 289人	リサイクル体験教室を実施し、3R（スリーアール）に対する理解度を深め、循環型社会形成の意識向上につなげることができた。
15	地域づくり連携推進事業	環境先進地	ごみの減量ふくちやまモデル推進事業	【事業の目的】 福知山市におけるひとり一日当たりごみ排出量は令和3年度以降減少傾向にあるが、長期的に安定したごみ処理を継続するため、引き続きごみ排出量の削減に取り組む必要がある。 このため、市民・事業者の皆様への啓発に加え、プラスチック使用製品ごみの再商品化等によるリサイクルの推進、ごみ処理施設のあり方検討の着手による持続可能なごみ処理体制の構築を図る。 【事業の内容】 プラスチック使用製品ごみの再商品化等天然資源の消費抑制につながるリサイクルの推進に努めるほか、市民の皆様「資源循環に配慮した生活習慣」の普及に向けた啓発を進める。 ごみ焼却施設やプラスチック使用製品ごみの処理施設等、本市ごみ処理施設のあり方検討に着手し、持続可能なごみ処理体制の構築に取り組む。	15,444	5,536	・環境審議会開催回数 4回 ・廃棄物搬入量 21,211t 目標（27,231t）以上の減量を達成	市民・事業者の協力により一般廃棄物処理基本計画に規定された施策を着実に推進し、ごみの減量目標を達成することができた。
16	地域づくり連携推進事業	京都産業	稼げる農業応援事業（補正分含む）	【事業の目的】 自らが「稼ぐ」ことに取り組む意欲ある農業者を育成するとともに、農産物の高付加価値化や販路開拓に係る取り組みを支援する。 【事業の内容】 ・大阪市の本市アンテナショップにて福知山産の農産物のPRを行い知名度向上、販路拡大、販売促進を図る。 ・専門的な知識を有する講師を招き、販路拡大や情報発信等農業経営に役立つ講座を開催することで、農業者の稼ぐ意欲を醸成する。 ・農業者等が実施する販路拡大や商品開発等の取り組みに対して補助金を交付する。 ・有機JAS認証米や特別栽培米等付加価値の高い米の生産に対して面積に応じた補助金を交付する。	2,514	902	・アンテナショップにおける農産物等直売会の開催 回数：2回 ・農業経営に係る講座の開催 回数：3回 参加人数（延べ）：58人 ・販路拡大や商品開発等の取り組みに対する補助金交付 交付件数：6件 ・環境にやさしい米づくり 支援事業有機JAS認証米や特別栽培米の生産に対する補助金交付 総取組面積：3,614a 取組者数：16者	慣行栽培よりも収穫が低減する上に手間がかかる「環境にやさしい米」づくりに対して補助金を交付することで、高付加価値でもある「環境にやさしい米」の生産を推進した。 「稼ぐ意欲のある」農業者が行う新商品の開発や新たな販売チャネルの確立を支援することで、農業者等の所得向上に寄与した。 専門的な知見を有した講師の講座を無料で受講できる機会を創出することで農業者の稼ぐ意欲の醸成に寄与した。 大阪市に開業した本市アンテナショップにおいて、農産物等の直売会を実施することで、本市の魅力ある特産物やその加工品を都市圏にPRすることができた。

17	地域づくり連携推進事業	京都産業	中心市街地空き家・空き店舗対策支援事業	【事業の目的】 空き家、空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流通を促進し、まちなかでの居住・開業の推進による居住人口の増加と商業活性化を図る。 【事業の内容】 中心市街地において、空き家、空き店舗等の物件の掘り起こしと、利用を希望する方に対しての情報提供を行い、また空き家・空き店舗等の物件と利用希望者の登録手続とマッチングを行う。 ストックバンク事業により物件成約し、中心市街地内で空き店舗等を活用して新規出店する事業者に対して補助金を交付する。	5,048	1,810	・新店舗開業数 2件 ・新規登録物件数 4件	一般社団法人地域振興社によって、自治会を通した空き物件調査や積極的な情報発信を行い、中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産所有者に対してストックバンク制度の周知に努めた。また、新規開業を検討する人に対して、空き店舗等対策事業補助金等支援制度の活用も促すことで、新規利用希望登録と新規開業にも繋げることができた。
18	地域づくり連携推進事業	交流と連携	まちづくり会社活動支援事業	【事業の目的】 福知山まちづくり株式会社が行う、中心市街地活性化基本計画に係る各事業を着実に推進することを目的とする事業に対して支援を行う。 【事業の内容】 ・福知山まちづくり㈱が実施する中心市街地活性化にかかる事業に対する補助金の交付をおこなう。 (賑わい創出に係るイベント等の実施/ゆらのガーデンを起点として、福知山城や周辺商店街等まちなかの誘客・回遊を促す企画立案実施/広小路商店街の店舗等と連携し、子育て世代等と呼び込む企画の実施など)	1,660	596	・ゆらのガーデン・広小路テナントミックス店舗数 12軒 ・出店者協議会回数 10回	市にはない独自のまちづくりの経験や知識を有しており、また商業関係者等のネットワークも構築している。観光施設との連携による集客力向上の取組や商店街や商工会議所等と連携してゆらのガーデンや商店街の支援、イベントの実施等を行い産業の活性化につなげることができた。
19	地域づくり連携推進事業	京都産業	福知山市産業支援事業	【事業の目的】 市内で開発・生産された自社商品及びサービスを周知するため展示会等へのイベントに出展する際の経費や、ECサイトを構築し販売する経費の一部を補助することで、事業者の販路開拓を支援し産業の振興を図る。 【事業の内容】 展示会等へのイベントに出展する際の経費や、ECサイトを構築し販売する経費の一部を補助する。	392	140	・福知山市販路開拓支援補助金交付件数 4件（3社） ・福知山市自社ECサイト構築補助金交付件数 1件（1社）	福知山市販路開拓支援補助金については、4件すべてが関西圏外の展示会に出展するものであり、顧客等の新規開拓につながった。 また、福知山市自社ECサイト構築補助金については、複雑なECサイトを見やすいものに改修したことにより購入者が商品のイメージを持ちやすくなったとともに、スムーズに発注作業ができるようになり、多数の注文にも対応できるようになった。
20	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	自主防災組織育成補助事業	【事業の目的】 近年、多発する集中豪雨や台風等の大規模な災害が発生した場合、公助による支援には限界があり、住民が協力した地域ぐるみの自助・共助による活動が、被害を軽減させる大きな力となる。地域の助け合いの活動を組織的に行う自主防災組織の新規設置、運営、連携に対して補助制度による支援を行うことで、全市域での自主防災組織の設置促進と育成、活動の強化と継続性を確保し、地域防災力の向上を図り、「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」を推進する。 【事業の内容】 自主防災組織の運営について補助制度に基づく次の支援を行う。 ・防災資機材の整備 ・防災訓練の実施	1,320	474	・自主防災組織運営補助数 79件	補助事業の実施により、自主防災組織の育成、活動の強化と継続性を確保し、地域防災力の向上を図り「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」を推進することができた。運営補助を活用いただいた自主防災組織では、地域に必要な災害対応用の資機材や避難のために必要な物品の整備を計画的進めていただいており、地域住民の自助・共助の意識の醸成と防災意識の高揚に繋がっているものと評価できる。

21	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	スクールサポーター配置事業	【事業の目的】 スクールサポーターを配置することで、学習障害や注意欠陥多動性障害など発達障害のある児童生徒、重度の障害があるなど課題の大きな児童生徒や日本語の理解が困難な児童生徒等をサポートし、学習環境を整える。障害のある児童・生徒に対し、人的な合理的配慮を提供する。 【事業の内容】 学校生活上課題の大きい児童・生徒をサポートするため、指導補助員としてスクールサポーターを配置する。	56,726	20,334	・学校生活上課題の大きい児童・生徒をサポートするため、指導補助員としてスクールサポーターを配置した。	スクールサポーターを配置したことで、適切な支援を行うことができ、安心・安全な学校生活、学習環境の確保に寄与した。公共の責務である合理的配慮の提供について役割を果たした。
22	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	AET配置活用事業	【事業の目的】 AETを配置することで外国語活動によるコミュニケーション能力の向上、英語教育の充実を図り、子どもがグローバルな社会に対応できる人材に成長できることを目的とする。 【事業の内容】 ・市立小中学校（小学校5・6年生）にAET（英語指導助手）を配置し外国語活動によるコミュニケーション能力の向上を図る。 ・その他、幼稚園や「けやき広場」にてAETを活用する。	29,058	10,416	・市立小中学校にAET（英語指導助手）を配置し、外国語活動によるコミュニケーション能力の向上を図った。その他、幼稚園や「けやき広場」においてもAETを活用した。	児童生徒の英語によるコミュニケーション能力や異文化理解、語学力の向上に資することに加え、AETを活用した授業を行うことで授業づくりのノウハウ等、教員の資質向上につながった。AETを通して外国の文化に興味を抱いた割合（中学生）70.6%
23	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	はばたけ世界へ 中学生 短期留学事業	【事業の目的】 次代を担う中学生に、グローバルな国際社会で未来を切り開くために役立つ短期留学を支援し、国際交流を通じて自らの成長と新たな次のステップに挑戦する契機とする。また、同世代交流や文化・歴史・地理及び環境について学ぶことで、広い視野と国際感覚、更にコミュニケーション力を育む機会とし、新たな価値観や多様性を受け入れることができるグローバル人材の育成へとつなげる。 【事業の内容】 令和7年8月に中学2年生15人を対象として、カナダへ10日間の海外短期留学を実施する。応募者全員を対象とした研修会を開催し「グローバル化と異文化理解・コミュニケーション」について学ぶ。また、留学参加者に対して、留学出発に向けて英語学習・現地交流準備等の事前学習会を4回開催する。 【事業実施計画】 4～7月 事前学習会 計4回 開催、8月 海外留学 実施（研修地：カナダ コキットラム等、10日間）、8月 留学報告会 開催 12月 令和8年度 海外留学生徒募集説明会 1～3月 令和8年度 海外留学生徒募集・選考、応募者全員研修会開催	15,759	5,649	・海外留学生徒数 15人 ・海外留学生徒募集説明会 1回	海外留学を通して日本ではできない多くのことを体験し、短期間ではあるが、生徒自身の自立や成長に繋がる機会とすることができた。帰国後は、「長期海外留学を目標にしたい」「成長したコミュニケーション力を発揮していきたい」「将来の職業に役立てたい」など短期留学を契機に今後に向けて大変意欲的な思いを聞くことができた。令和6年度に引き続き、応募者全員研修会（2月）を開催し、異文化やコミュニケーションについて学ぶ機会を提供し、留学への関心をさらに高める機会を持つことができた。

24	地域づくり連 携推進事業	災害・ 犯罪か らの安 全	男女共同参画保護救済事 業	【事業の目的】 「配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画（第3次）」に基づきDVや様々な暴力の根絶に向けた施策の推進を図り、暴力や差別、困りごと、生きづらさに対する支援を提供することを目的とし、対面及び電話による専門相談事業やDV・ストーカーなどの被害者に対する支援機関と連携した取組みにより、被害者や市民が安心して相談できる機会や安心安全に暮らせる生活環境を提供する。 【事業の内容】 ・女性相談（年22日×3回） ・女性法律相談（年8日×4回） ・男性相談（年4日×3回） ・DV等被害者への支援及び関係支援機関等との連携 1. 女性相談（専門相談） 女性が抱える生活や仕事に関する悩み、DVやストーカー、セクシャル・ハラスメント、差別など女性の人権に関する問題について女性問題専門のカウンセラーが相談に応じる。 2. 女性法律相談（専門相談） 女性の弁護士による無料法律相談窓口を開設し、専門的な情報の提供や問題の早期解決を図る。 3. 男性相談（専門相談） 男性が抱える問題（家庭内でのトラブルや精神的な悩み、社会的な偏見）など男性の人権に関する相談に応じ、適切な支援を提供する。 4. DV被害者支援 DV被害者に対し、身の安全を守る方法や法的支援、カウンセリングなど、被害者の保護と自立が実現されるよう関係機関との連携を図りながら支援を行う。	1, 223	439	1. 女性相談 26人（30件） 2. 女性法律相談 24人（24件） 3. 男性相談 3人（5件） 4. DV被害者支援 72人 【内訳】 ・職員対応： 63人（女性）・2人（男性） ・女性相談:5人（女性） ・女性法律相談:1人（女性） ・男性相談:1人（男性）	専門相談の予約について、令和6年度まではほとんど対面または電話での予約のみだったが、令和7年度からは利用のハードルを下げるためWEB上でも相談の空きを確認し予約ができるLoGoフォームを本格的に活用した。LoGoフォームの二次元コードが印刷された相談案内チラシを市の施設や関係機関に配付し、また市のホームページからも相談の予約ができるようになり、市民が相談しやすい環境を整えた。 女性相談員が困難な問題を抱える女性からの相談に対し、一人ひとりのニーズに応じて、寄り添った支援を行うことができた。また、包括的かつ切れ目ない支援体制という面で、人権推進室での相談受付後、関係機関との連携を行った。
①	大阪・関西万 博連携推進事 業	文化振興	大阪・関西万博への催事 等出展事業（秘書広報 課）	【事業の目的】 令和7年4月から始まる大阪・関西万博に、本市の資源の1つである鬼文化を活用した催事等を出展し、魅力を発信するとともに、それをきっかけとして市内への継続的な誘客を図り、交流・関係人口の創出につなげていきます。また地域の伝統文化を次世代へ継承する機会も創出します。 【事業の内容】 ・市民を対象とした鬼のお面づくりワークショップを開催し、お面とともに万博に出演する機会の創出 ・大阪・関西万博（多目的エリア）での「大江山酒吞百鬼夜行」の開催 ・大阪・関西万博（京都ゾーン）での「大江山鬼伝説」の展示 ・万博出展に関連した展示企画展を鬼の交流博物館で開催 ・万博開催期間中のSNS等での広報展開	2, 833	1, 326	鬼のお面づくりワークショップに参加し、大阪・関西万博「大江山酒吞百鬼夜行」に出演した人数 29名 日本の鬼の交流博物館特別展 「万博百鬼夜行展」の開催期間中の来場者数 1,700名 三井寺妖怪ナイト、東映太秦映画村うずまさ百鬼夜行をはじめとしたイベントでの大江山酒吞百鬼夜行のPR活動 11回	令和7年5月3日に大阪・関西万博へ出展した「大江山酒吞百鬼夜行」については、約70席の会場が満席となり急遽立ち見のスペースが準備されるなど、国内外を問わず多くの方にご覧いただいた。大阪・関西万博きようと推進委員会の公式Xにおいても、当日の集合写真の投稿に対して「いいね」が7,000以上、タイムライン上に表示されたことを示すインプレッション数は45万回以上を記録するなど、特にSNSにおいて本市独自の地域資源である「大江山鬼伝説」をPRすることができた。 日本の鬼の交流博物館の特別展をPRする関連イベントにはインバウンドを含む多くの観光客が来場（例：東映太秦映画村 うずまさ百鬼夜行 等）しており、本市の鬼文化PRに一定の成果があった。

②	大阪・関西万博連携推進事業	文化振興	大阪・関西万博への催事等出展事業（やくの木と漆の館）	【事業の目的】 令和7年度に開催される「大阪・関西万博」の京都ゾーンに、「JAPAN」と言われる「漆」の名称を活かしながら本市の無形民俗文化財である丹波漆を出展し、国内外にPRします。出展期間中は、丹波漆を使った実演・展示と、会場と漆掻き現場（夜久野）をオンラインでつないだ紹介などにより、来訪者に丹波漆と福知山をPRし、本市への誘客につなげる取り組みを行います。 【事業の内容】 「大阪・関西万博」への出展に向け丹波漆のPR動画を制作し、漆製品、漆掻き道具、漆掻き後の原木の展示、漆の館職員による漆の金継ぎの実演、会場と現地(夜久野)をオンラインで繋いでの漆掻きの見学などの出展を行うことにより本市への誘客を促進します。	984	460	・出展ブース来場者者数(7日間) 約20,000人	万博出展時には、世界各国の人に丹波漆について知ってもらうことが出来た。 万博出展を契機に丹波漆に関する問い合わせ、メディア掲載問い合わせが増加した。 企画段階から地域住民と協力体制のもと取り組みを進めたことで、地元住民の伝統文化への関心が高まり、万博後も丹波漆を発信していくためのワークショップなどを開催しており、地元でも丹波漆を広めようとする機運の上昇に寄与したものと考える。
③	大阪・関西万博連携推進事業	文化振興	大阪・関西万博への催事等出展事業（健康医療課）	【事業の目的】 大阪・関西万博において、日本全国より地方創生SDGsに取り組む地方自治体による展示会イベント「地方創生SDGsフェス」が開催される。今回のイベントにおいて、献血と骨髄バンクをテーマとした展示ブースを出展することで、都市宣言をしている本市の取組を国内外へ発信するとともに、献血と骨髄バンクへの理解を深める契機とし、「誰もが健康で命を大切にされる社会」の実現を目指す。 【事業の内容】 ・献血・骨髄バンクに関するパネル展示、体験企画等 ・イベント終了後、献血推進月間や骨髄バンク推進月間における展示や市民憲章推進大会などでの展示。	4,236	1,983	・大阪、関西万博でのブース来場者数 4,466人 ・市内における万博企画の再展示 11か所 ・万博後アンケート「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」市民認知度 24.5%	大阪・関西万博ブースには、福知山市内や近隣市町の市民も来場していただき、福知山市の都市宣言を周知できた。実際に、大阪・関西万博後のアンケート調査でも、都市宣言認知度、活動認知度合わせて、目標の20%を超える結果となった。 万博終了後も市内で再展示を行い、献血・骨髄バンク共に課題である、若年層への啓発に力を入れることができた。令和8年度も大阪・関西万博で出展したものを活用・強化し、市内での啓発活動を実施し、「誰もが健康で命を大切にされる社会」の実現を目指す。
④	大阪・関西万博連携推進事業	文化振興	大阪・関西万博への催事等出展事業（商業観光課）	【事業の目的】 令和7年度に開催される大阪・関西万博会場内で関西広域連合が設ける関西パビリオンの京都ゾーン及び多目的エリアにおいて、本市の無形民俗文化財である「福知山音頭と踊」の披露と、本市の「食を集めた物販」を行う。 これに伴い、市内の出展団体に対して支援を行い、大阪・関西万博を契機として、インバウンド（訪日外国人）を含めた国内外からの誘客を図る。 【事業の内容】 大阪・関西万博京都ゾーン及び多目的エリアへ出展する市内団体に対し、出展にかかる費用を補助し、万博を通じて福知山市の魅力を国内外へ発信する。	473	221	下記、出展を行った。 ○福知山音頭と踊 日時：令和7年5月1日 13：00～14：00 場所：関西パビリオン多目的エリア 内容：福知山踊りの披露、指導 来場者数：4/29～5/4の期間で約15,000人 日時：令和7年5月19日～25日 9：00～20：00 場所：関西パビリオン京都ゾーン 内容：福知山の踊り披露、指導（5/22～23） 福知山踊り関係の展示（5/19～25） 来場者数：5月22日 約3,000人 5月23日 約2,900人 出展団体：福知山踊振興会 ○食を集めた物販 日時：令和7年10月5日 11：00～19：00 令和7年10月6日 10：00～17：00 場所：関西パビリオン多目的エリア 内容：秋が旬の丹波くりを使用したカヌレや、上質な福知山産の茶葉を使った玉露など、地元ならではの特産品を販売 来場者数：10月1日～6日 約39,000人 出展団体：福知山フロント株式会社 物販 ※数字は販売個数 ・くり丹波・とうわのカヌレセット87個 ・丹波栗の渋皮煮 21個 ・京都奥丹波カヌレ 38個 ・深煎りほうじ茶 赤鬼 くき15個・ティーバッグ15個・ティーバッグ(2個入)15個 ・福知山産玉露 ふくちやま茶 茶葉7個・ティーバッグ9個・ティーバッグ(2個入)11個 ・とまとのじゅ～す500ml 5個	○福知山音頭と踊り 本市の無形民俗文化財である「福知山音頭と踊」の披露、来場者への指導、来場者と共に行う総踊りを通じて、福知山踊りの認知度向上、普及促進に寄与した。 大阪万博での出演を通じて、福知山踊振興会の会員の日々の活動に対するモチベーションの向上につながったという意見を聞いている。今後も小学校等への出前講座を通じて後継者の育成、踊りの更なる発展につながるようも福知山踊振興会と連携を図っていく。 ○食を集めた物販 丹波栗を使用したスイーツ、福知山産の茶葉を使用した玉露等を万博にてPRすることにより、福知山の食文化ひいては福知山市の周知に寄与した。 また、出展団体である福知山フロント株式会社が開催する福知山の食のイベント「Farmers Tables」に関心を示す来場者も見受けられ、福知山への誘客にも繋がる結果となった。

ア	市町村間連携 推進事業	交流と 連携	京都府中・北部地域消防 指令センター管理事業	【事業の目的】 京都府中・北部地域の6消防本部で消防指令センターを共同運用し、消防指令業務の広域化・効率化を推進する。 【事業の内容】 京都府中・北部地域の6消防本部で「京都府中・北部地域消防指令センター」の運営を行う。	6,989	2,118	・119番通報受信件数 32,517件（うち福知山市：5,672件） ・指令システム保守点検 1回	消防指令センターを共同運用することにより、各消防本部における指令業務の効率化を図ると共に、災害状況を一元管理することで、大規模災害時における迅速な応受援体制の構築につながった。
イ	市町村間連携 推進事業	交流と 連携	中丹文化芸術祭事業	【事業の目的】 市民が取り組む芸術・創作活動の成果を発表する場を支援することで、より多くの市民に触れる機会を提供し、心豊かな地域社会の構築を目指す。 【事業の内容】 ・中丹3市と中丹文化事業団の共催で市民及び文化団体の舞台芸術や創作活動等の発表の場を提供する。	626	190	本市が当番市となり実施した。 中丹文化芸術祭出展出演者及び入場者数 ・出展出演者 1,101名 ・入場者 1,693名	福知山市、綾部市、舞鶴市で文化活動を行っている方々の交流の場として、貴重な機会を創出できている。また、日頃の成果を発表する場を提供することで、文化活動の継続の一助を担っている。
ウ	市町村間連携 推進事業	交流と 連携	夜久野地域公園管理事業	【事業の目的】 本市と兵庫県朝来市との府県境にある宝山公園は夜久野地域における観光拠点となっており、森林浴やバードウォッチング、夜久野高原八十八か所石仏を巡るハイキング等を楽しめる観光スポットである。両市にまたがる夜久野高原を中心として観光客等の利便性と環境衛生の確保を図り、地域の活性化と親交を促進するため設置された公園内の施設管理を行う。 【事業の内容】 「夜久野高原さわやかトイレ」の管理費の一部負担	496	151	・清掃回数 310回 ・苦情件数 0件	宝山公園や農匠の郷やくの近くの公共トイレについて、適正な管理をすることができた。
エ	市町村間連携 推進事業	交流と 連携	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業	【事業の目的】 農作物被害を軽減させるために捕獲された有害鳥獣を適正に処分するために中丹3市（福知山市、舞鶴市、綾部市）と京都府で協力して整備した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより、駆除隊員の埋設労力負担を軽減し、計画的な捕獲を推進する。 【事業の内容】 中丹3市において、「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行う。	38,761	11,745	・年間処理頭数 7,869頭	施設を安定して稼働させることで、有害鳥獣捕獲・処理の推進に寄与した。
オ	市町村間連携 推進事業	交流と 連携	四都市スポーツ大会事業	【事業の目的】 広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上をはかり、スポーツを通じて、両丹地方相互の友好並びに親睦を深める。 【事業の内容】 競技会は、年次で実施し、冬季大会（スキー種目）、春季大会（陸上競技等）の各競技の結果により、四市の総合順位を決定する。 第70回大会から大会名称を「四都市スポーツ大会」に変更し、令和7年度は第73回大会となる。	786	239	・四都市スポーツ大会参加者数 562人 ・実施競技数 17競技	四市のスポーツを通じた交流として、各市に定着し、歴史、実績を積み重ねており、京都府北部地域で行う数少ない社会人の大会として認知されており、多くの市民がスポーツに参加できる機会を創出することができている。

A	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	その他	公民連携事業	【事業の目的】 少子高齢化や人口減少に伴い、未利用となった既存公共施設の維持管理費や解体費用が大きな課題となっている。公共施設の整備・運営に民間の資金とノウハウを活用して公共施設の設備や運営を行い、本市の財政状況や行政サービスに対する市民のニーズの多様化に対応する。 【事業の内容】 民間事業者のニーズや動向を把握するため、「公民連携促進に関する連携協定」を締結している金融機関と連携し、未利用公有財産の民間活用を進める取組を行う。 （サウンディング型市場調査、トライアル・サウンディング、民間提案募集等）	5,298	2,491	・活用実現した施設の敷地面積（累計） 125,693㎡ ・民間提案制度による募集 4件 ・サウンディング型市場調査 2件 ・公民連携イベント参加者数 96名	令和7年度は、「スモールコンセッションフェア&現地見学ツアー」及び「未利用公有財産活用ビジネスプランコンテスト」を実施し、旧夜久野町構造改善会館及び旧川合保育園の活用が決定した。令和8年4月に引き渡しが完了している。 また、金融機関と連携して実施して、官民共創による社会課題の解決をめざして「Social Community Forum」を開催し、意識醸成を行った。
B	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	その他	施設マネジメント事業	【事業の目的】 公共施設の更新問題を踏まえ、現在の暮らしを守りつつ、子供や孫など未来の世代に大きな負担を背負わず、安心して暮らし、働き、学び続けることができるまち、ふるさとでいつまでも幸せを実感できる持続可能な都市を目指す。そのため、市の保有するすべての公共施設について、全体として福知山市の身の丈に合った将来にわたってバランスの取れたものとなるよう「公共施設マネジメント」を推進する。 【事業の内容】 ・市民ニーズと将来負担を踏まえた最適な公共施設を実現するため、公共施設の複合化や削減等を利便性の確保に努めながら推進する。 ・福知山市公共施設マネジメント個別施設計画に基づく、公共施設の長寿命化や公共施設等包括管理業務により、維持管理の質の向上を図り、公共施設の安心・安全を確保する。 ・施設の利用頻度が低い施設、利用の偏りがあるなど有効に利用されていない施設、有効に活用されていない余剰空間をもつ施設などムダを削減する。 ・公民連携手法であるPPP/PFIや指定管理者制度などを導入することで効率的かつ効果的な公共施設の管理運営につなげるとともに、未利用公有財産の民間事業者による活用を推進する。	9,933	4,809	公共施設削減面積（貸付含むR7年度実績） 1,837㎡	単年度で貸付含む削減実績では1,837㎡、累計で71,345㎡となった。第2期公共施設マネジメント基本計画（令和16年度まで）の目標140,000㎡に対する達成率は51.0%、30年間の目標208,000㎡に対する達成率は35.7%であり、着実に進めることができている。